



UBSグローバル株式厳選投資ファンド
Aコース（ダイワ投資一任専用）／
Bコース（ダイワ投資一任専用）

第5期 運用報告書（全体版）
決算日 2021年6月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）」は、去る6月15日に第5期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く
http://www.ubs.com/japanfunds

© UBS 2021。キーンソール及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

* 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2016年9月26日設定）	
運用方針	この投資信託は、UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、実質外貨建資産について、Aコースでは原則として対円で為替ヘッジを行い、Bコースでは為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	主として日本を除くグローバル株式を投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年6月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）

* 設定以来の運用実績 *

決算期	基準価額 (分配前)	税込み 分配金	期中 騰落率	ベンチマーク 騰落率	期中 騰落率	株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
(設定日) 2016年9月26日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	400
1期(2017年6月15日)	10,993	0	9.9	11,373	13.7	95.7	—	461
2期(2018年6月15日)	12,794	0	16.4	12,718	11.8	99.3	—	979
3期(2019年6月17日)	13,343	0	4.3	13,036	2.5	96.1	1.2	1,568
4期(2020年6月15日)	13,984	0	4.8	13,342	2.4	97.4	—	4,491
5期(2021年6月15日)	18,351	0	31.2	18,682	40.0	96.0	—	9,397

(注1) 基準価額は1万円当たり。
(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注4) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) ベンチマーク（MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース））は、設定日を10,000として指数化しております。

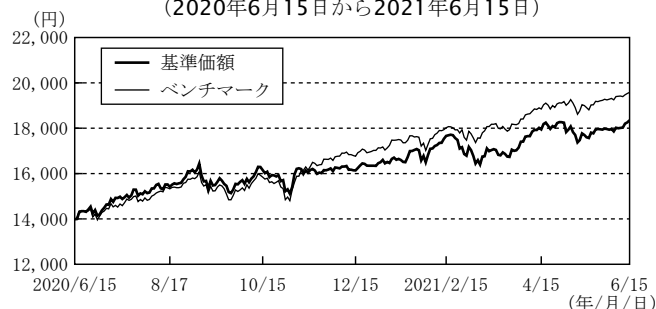
* 当期中の基準価額等の推移 *

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率
	円	%	円	%		
(期首) 2020年6月15日	13,984	—	13,342	—	97.4	—
6月末	14,200	1.5	13,472	1.0	98.5	—
7月末	15,136	8.2	14,143	6.0	96.1	—
8月末	16,166	15.6	15,079	13.0	96.5	—
9月末	15,526	11.0	14,513	8.8	97.2	—
10月末	15,305	9.4	14,278	7.0	94.7	—
11月末	16,226	16.0	15,915	19.3	97.7	—
12月末	16,498	18.0	16,342	22.5	98.2	—
2021年1月末	16,778	20.0	16,546	24.0	96.9	—
2月末	16,860	20.6	16,791	25.8	96.5	—
3月末	17,024	21.7	17,323	29.8	102.5	—
4月末	18,245	30.5	18,297	37.1	101.5	—
5月末	17,981	28.6	18,393	37.9	96.3	—
(期末) 2021年6月15日	18,351	31.2	18,682	40.0	96.0	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。
(注2) 騰落率は期首比です。
(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注4) ベンチマーク（MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース））は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期の運用状況 *

<当期の基準価額等の推移>
(2020年6月15日から2021年6月15日)



※ベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で4,367円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+31.2%となりました。

投資環境について

当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。コロナ禍での経済活動の停滞に対し、各国政府および中央銀行が景気下支えのため積極的な措置を講じたことから、株式市場は大きく上昇して始まりました。2020年9月以降、高値警戒感の広がりや11月の米大統領選・両院議会選に対する警戒感から、値動きが不安定化する局面はあったものの、米国の選挙後は同国の政治リスク後退、また新型コロナウイルスワクチンの実用化への期待などを背景に反発し、年末にかけて一段高となりました。2021年に入り、1月は米国市場での投機的取引を引き金とした市場の混乱、2月から3月にかけては米国長期金利の急上昇、さらに5月は米インフレ率の大幅な上昇を嫌気して、グロース株中心に売り圧力に押される局面もありましたが、景気敏感銘柄が相場をけん引し、全体としては期末まで概ね上昇基調を維持しました。

運用経過

<当ファンドのポートフォリオについて>

当ファンドは、期を通じてUBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド受益証券を高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行いました。また、運用の基本方針にしたがい、対円で為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図りました。

<マザーファンドのポートフォリオについて>

当ファンドは、日本を除く世界の株式を主要対象とし、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいりました。なお、為替ヘッジは行っていません。

○期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

情報技術では、クラウド事業の成長余地や株主還元姿勢の強化を評価する米ソフトウェア大手のマイクロソフトを積み増したほか、安定した顧客基盤に対するクロスセルを通じた成長を図る米クラウド関連ソフトウェアのサービスナウ、市場のすそ野の広さがもたらす成長性とサブスクリプション・ビジネスへの注力に伴う収益安定性を評価する米会計ソフトのインチュイットの新規組み入れなどにより、セクターウェイトを大幅に引き上げました。資本財・サービスについては、コロナ禍での在宅需要のみならず、気候変動問題という構造的要因も追い風となる米発電機メーカーのジェネラック、エネルギーの効率利用という社会的要請への対応が収益拡大につながるるとみる仏重電大手のシュナイダー・エレクトリックへの新規ポジション構築等により、同じくセクターウェイトを引き上げています。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

ヘルスケアでは、ファンダメンタルズを精査する中で、先行きの売上動向が高い市場予想を下回るリスクを特定したスイス大手医薬のロシュ、市場に追随して株価は上昇トレンドをたどる一方、コロナ禍での手術先延ばしにより収益回復が遅れるリスクの高まった米医療機器メーカーのメドトロニック、およびエドワード・ライフサイエンスの全売却を通じて、セクターウェイトを大きく引き下げました。生活必需品では、経済正常化が強く意識される中、事業のディフェンシブ性と新興国売上比率の高さから、株価が見直されるには時間を要すると判断した米ノンアルコール飲料大手のコカ・コーラについて、また一般消費財・サービスでは、在宅で押し上げられた需要が経済再開で伸び悩み可能性を踏まえてDIY大手の米ホーム・デポを全売却し、両セクターのウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したことです。マザーファンドの基準価額は、主に組入株式の株価上昇などのプラス要因が、その他のマイナス要因を上回ったことにより、上昇しました。

<ベンチマークとの差異について>

当期中の騰落率は、基準価額の+31.2%に対してベンチマークが+40.0%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を8.8%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、組入マザーファンドの保有株式において、一般消費財・サービス、金融、コミュニケーション・サービスにおける銘柄選択がマイナスに寄与したことです。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第5期
	2020年6月16日～2021年6月15日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	8,350円

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

米国株式は高値圏でもみ合う展開を予想します。米国では経済再開への期待が強く、依然として低い債券利回りと比較したバリュエーションの観点から、決算前に強い業績に対する期待を織り込む形で、株価は更なる高値を試す展開が想定されます。一方で、労働市場の予想以上の改善などを受けた、金融緩和の早期縮小に対する警戒感、また政治面では、米中摩擦の再燃や債務上限をめぐる与野党の議論紛糾などが、市場を動揺させる可能性に注意が必要と考えます。

欧州株式はもみ合う展開を予想します。新型コロナウイルスワクチンの接種加速に伴う世界経済の回復期待や、欧州連合（EU）復興基金等の財政支援期待、緩やかな金融環境の長期化等が、引き続き欧州株式市場の追い風になると見えています。一方、中国景気の鈍化や商品価格の上昇、半導体不足などが欧州企業の収益改善を阻害する要因になる可能性があります。また、英国ではデルタ株の影響により新型コロナウイルスの感染状況が再び悪化しており、欧州大陸への影響も危惧されます。

<当ファンドの今後の運用方針>

引き続きマザーファンドを高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいります。

<マザーファンドの今後の運用方針>

引き続き世界の株式に投資を行い、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指してまいります。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2020/6/16～2021/6/15		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	165円	1.012%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は16,328円です。
（投信会社）	(144)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(18)	(0.110)	運用報告書等各種書類の交付、口内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	4	0.026	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(4)	(0.026)	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	10	0.059	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(10)	(0.059)	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	9	0.053	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.018)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.015)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(1)	(0.005)	外国株式の配当金に係る手数料等
合計	188	1.150	

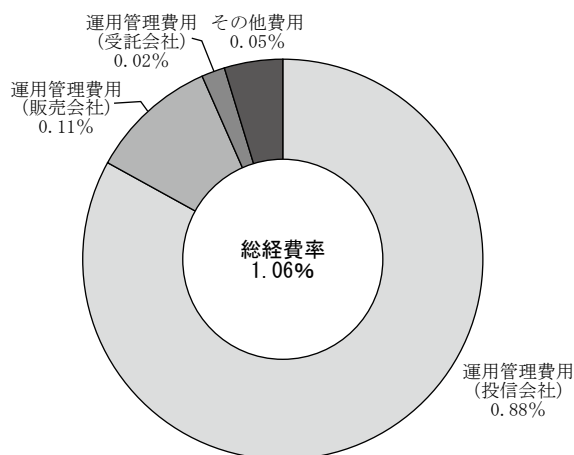
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.06%です。



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 * (自 2020年6月16日 至 2021年6月15日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	4,790,278	9,224,000	3,390,871	6,679,000

(注) 単位未満は切り捨て。

* 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 *

項 目	当 期
	UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	124,487,907千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	74,894,599千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.66

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2020年6月16日 至 2021年6月15日)

(1) 期中の利害関係人等との取引状況

期中における利害関係人等との取引はありません。

(2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおける期中の利害関係人等との取引状況

区 分	買付額等		B/A	売付額等		D/C
	A	うち利害関係人等との取引状況B		C	うち利害関係人等との取引状況D	
株 式	百万円 55,717	百万円 208	% 0.4	百万円 68,770	百万円 157	% 0.2

(注) 平均保有割合 9.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(3) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおける利害関係人等である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株 式	百万円 23

(4) 売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額(A)	1,893千円
うち利害関係人への支払額(B)	4千円
(B)／(A)	0.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうちこのファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当ファンドに係る利害関係人等とはユービーエス・エイ・ジー（銀行）です。

* 組入資産の明細 *

親投資信託残高 (2021年6月15日現在)

項 目	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド	千口 2,721,864	千口 4,121,271	千円 9,419,166	

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 投資信託財産の構成 *

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド	千円 9,419,166	% 98.9
コール・ローン等、その他	101,077	1.1
投資信託財産総額	9,520,243	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（79,046,253千円）の投資信託財産総額（79,213,571千円）に対する比率は99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.11円、1カナダ・ドル=90.68円、1ユーロ=133.45円、1イギリス・ポンド=155.39円、1スイス・フラン=122.43円、1スウェーデン・クローネ=13.22円、1デンマーク・クローネ=17.95円、1オーストラリア・ドル=84.91円、1香港ドル=14.19円、100韓国ウォン=9.86円、1南アフリカ・ランド=7.99円です。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	18,493,715,749円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	85,872,481
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド(評価額)	9,419,166,863
未 収 入 金	8,988,676,405
(B) 負 債	9,095,984,820
未 払 金	9,041,348,526
未 払 解 約 金	9,181,046
未 払 信 託 報 酬	44,299,579
未 払 利 息	242
そ の 他 未 払 費 用	1,155,427
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	9,397,730,929
元 本	5,121,204,643
次 期 繰 越 損 益 金	4,276,526,286
(D) 受 益 権 総 口 数	5,121,204,643口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	18,351円

(注記事項)

期首元本額	3,211,568,777円
期中追加設定元本額	6,494,405,341円
期中一部解約元本額	4,584,769,475円
1口当たり純資産額	1.8351円

* 損益の状況 *

(自2020年6月16日 至2021年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 34,363円
支 払 利 息	△ 34,363
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,309,614,663
売 買 益	2,491,659,645
売 買 損	△1,182,044,982
(C) 信 託 報 酬 等	△ 78,109,707
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,231,470,593
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	85,048,978
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,960,006,715
(配 当 等 相 当 額)	(1,512,550,439)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,447,456,276)
(G) 計 (D+E+F)	4,276,526,286
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	4,276,526,286
追 加 信 託 差 損 益 金	2,960,006,715
(配 当 等 相 当 額)	(1,520,991,118)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,439,015,597)
分 配 準 備 積 立 金	1,316,519,571

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（75,784,428円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,155,686,165円）、信託約款に規定する収益調整金（2,960,006,715円）および分配準備積立金（85,048,978円）より分配対象収益は4,276,526,286円（10,000口当たり8,350円）ですが、分配を行っておりません。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドBコース（ダイワ投資一任専用）

* 設定以来の運用実績 *

決算期	基準価額 (分配前)	税込み 分配金	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
(設定日) 2016年9月26日	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	% -	百万円 400
1期(2017年6月15日)	12,000	0	20.0	12,428	24.3	97.2	-	322
2期(2018年6月15日)	14,467	0	20.6	14,278	14.9	98.8	-	863
3期(2019年6月17日)	15,082	0	4.3	14,483	1.4	97.2	1.2	1,351
4期(2020年6月15日)	15,809	0	4.8	14,846	2.5	97.1	-	2,612
5期(2021年6月15日)	21,681	0	37.1	21,937	47.8	95.3	-	8,496

(注1) 基準価額は1万円当たり。
 (注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
 (注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
 (注4) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
 (注5) ベンチマーク (MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)) は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期中の基準価額等の推移 *

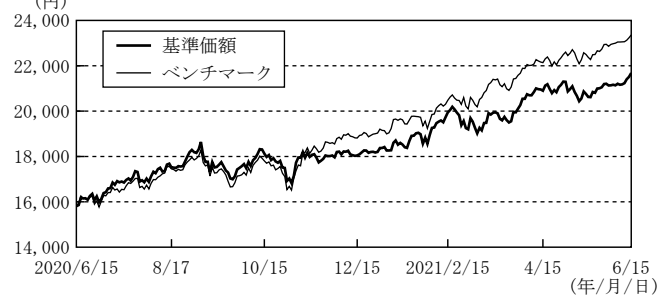
年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2020年6月15日	円 15,809	% -	14,846	% -	% 97.1	% -
6月末	16,126	2.0	15,048	1.4	97.6	-
7月末	16,878	6.8	15,557	4.8	97.1	-
8月末	18,190	15.1	16,759	12.9	97.7	-
9月末	17,496	10.7	16,107	8.5	98.2	-
10月末	17,028	7.7	15,665	5.5	96.9	-
11月末	18,044	14.1	17,477	17.7	98.0	-
12月末	18,376	16.2	17,986	21.2	98.4	-
2021年1月末	18,831	19.1	18,364	23.7	96.3	-
2月末	19,254	21.8	18,991	27.9	95.8	-
3月末	20,105	27.2	20,267	36.5	97.7	-
4月末	21,292	34.7	21,227	43.0	98.0	-
5月末	21,207	34.1	21,549	45.1	95.7	-
(期末) 2021年6月15日	21,681	37.1	21,937	47.8	95.3	-

(注1) 基準価額は1万円当たり。
 (注2) 騰落率は期首比です。
 (注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
 (注4) ベンチマーク (MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)) は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期の運用状況 *

< 当期の基準価額等の推移 >

(2020年6月15日から2021年6月15日)



※ベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で5,872円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+37.1%となりました。

投資環境について

当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。コロナ禍での経済活動の停滞に対し、各国政府および中央銀行が景気下支えのため積極的な措置を講じたことから、株式市場は大きく上昇して始まりました。2020年9月以降、高値警戒感の広がりや11月の米大統領選・両院議会選に対する警戒感から、値動きが不安定化する局面はあったものの、米国の選挙後は同国の政治リスク後退、また新型コロナウイルスワクチンの実用化への期待などを背景に反発し、年末にかけて一段高となりました。2021年に入り、1月は米国市場での投機的取引を引き金とした市場の混乱、2月から3月にかけては米国長期金利の急上昇、さらに5月は米インフレ率の大幅な上昇を嫌気して、グロース株中心に売り圧力に押される局面もありましたが、景気敏感銘柄が相場をけん引し、全体としては期末まで概ね上昇基調を維持しました。

運用経過

< 当ファンドのポートフォリオについて >

当ファンドは、期を通じてUBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド受益証券を高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行いました。また、運用の基本方針にしたがい、為替ヘッジは行っていません。

< マザーファンドのポートフォリオについて >

当ファンドは、日本を除く世界の株式を主要対象とし、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいりました。なお、為替ヘッジは行っていません。

○ 期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄
 情報技術では、クラウド事業の成長余地や株主還元姿勢の強化を評価する米ソフトウェア大手のマイクロソフトを積み増したほか、安定した顧客基盤に対するクロスセルを通じた成長を図る米クラウド関連ソフトウェアのサービスナウ、市場のすそ野の広さがもたらす成長性とサブスクリプション・ビジネスへの注力に伴う収益安定性を評価する米会計ソフトウェアのインチュイトの新規組み入れなどにより、セクターウェイトを大幅に引き上げました。資本財・サービスについては、コロナ禍での在宅需要のみならず、気候変動問題という構造的要因も追い風となる米発電機メーカーのジェネラック、エネルギーの効率利用という社会的要請への対応が収益拡大につながるとみる仏重電大手のシュナイダー・エレクトリックへの新規ポジション構築等により、同じくセクターウェイトを引き上げています。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄
 ヘルスケアでは、ファンダメンタルズを精査する中で、先行きの売上動向が高い市場予想を下回るリスクを特定したスイス大手医薬のロシュ、市場に追隨して株価は上昇トレンドをたどる一方、コロナ禍での手術先延ばしにより収益回復が遅れるリスクの高まった米医療機器メーカーのメドトロニック、およびエンドワード・ライフサイエンスの全売却を通じて、セクターウェイトを大きく引き下げました。生活必需品では、経済正常化が強く意識される中、事業のディフェンシブ性と新興国売上比率の高さから、株価が見直されるには時間を要すると判断した米ノンアルコール飲料大手のコカ・コーラについて、また一般消費財・サービスでは、在宅で押し上げられた需要が経済再開で伸び悩み可能性を踏まえてDIY最大手の米ホーム・デポを全売却し、両セクターのウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ファンドの基準価額の主な上昇要因は、世界的な株価の上昇などを背景に、組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したことです。また、為替市場において米ドルやユーロが対円で上昇したことも、基準価額の上昇に寄与しました。

< ベンチマークとの差異について >

当期中の騰落率は、基準価額の+37.1%に対してベンチマークが+47.8%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を10.7%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、組入マザーファンドの保有株式において、一般消費財・サービス、金融、コミュニケーション・サービスにおける銘柄選択がマイナスに寄与したことです。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万円当たり・税引前)

項目	第5期 2020年6月16日～2021年6月15日
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	(-)%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌繰越分配対象額	11,681円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 (注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

< 投資環境の見通し >

米国株式は高値圏でもみ合う展開を予想します。米国では経済再開への期待が強く、依然として低い債券利回りと比較したバリュエーションの観点から、決算前に強い業績に対する期待を織り込む形で、株価は更なる高値を試す展開が想定されます。一方で、労働市場の予想以上の改善を受けた、金融緩和の早期縮小に対する警戒感、また政治面では、米中摩擦の再燃や債務上限をめぐる与野党の議論紛糾などが、市場を動揺させる可能性に注意が必要と考えます。欧州株式はみも合う展開を予想します。新型コロナウイルスワクチンの接種加速に伴う世界経済の回復期待や、欧州連合 (EU) 復興基金等の財政支援期待、緩和的な金融環境の長期化等が、引き続き欧州株式市場の追い風になると見えています。一方、中国景気の鈍化や商品価格の上昇、半導体不足などが欧州企業の収益改善を阻害する要因になる可能性があります。また、英国ではデルタ株の影響により新型コロナウイルスの感染状況が再び悪化しており、欧州大陸への影響も危惧されます。

< 当ファンドの今後の運用方針 >

引き続きマザーファンドを高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいります。

< マザーファンドの今後の運用方針 >

引き続き世界の株式に投資を行い、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指すまいります。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2020/6/16～2021/6/15		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	188円	1.012%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は18,568円です。
（投信会社）	(163)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(20)	(0.110)	運用報告書等各種書類の交付、口内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	5	0.026	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(5)	(0.026)	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	12	0.062	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(12)	(0.062)	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	10	0.054	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.019)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(3)	(0.017)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.013)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(1)	(0.005)	外国株式の配当金に係る手数料等
合計	215	1.154	

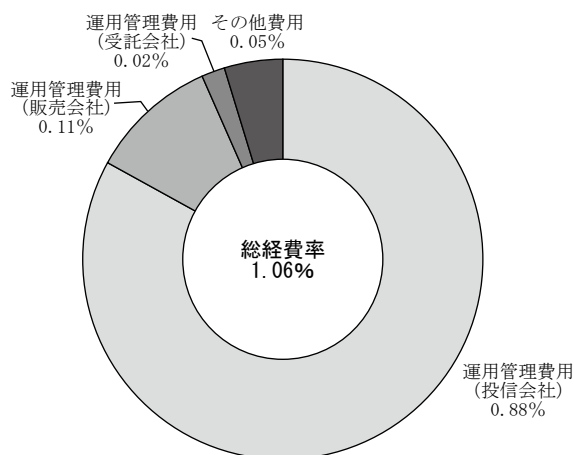
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.06%です。



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 * (自 2020年6月16日 至 2021年6月15日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	3,377,655	6,722,000	1,255,504	2,572,000

(注) 単位未満は切り捨て。

* 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 *

項 目	当 期
	UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	124,487,907千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	74,894,599千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.66

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2020年6月16日 至 2021年6月15日)

(1) 期中の利害関係人等との取引状況

期中における利害関係人等との取引はありません。

(2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおける期中の利害関係人等との取引状況

区 分	買付額等		B/A	売付額等		D/C
	A	うち利害関係人等との取引状況B		C	うち利害関係人等との取引状況D	
株 式	百万円 55,717	百万円 208	% 0.4	百万円 68,770	百万円 157	% 0.2

(注) 平均保有割合 7.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(3) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおける利害関係人等である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株 式	百万円 23

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,534,452,331円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	78,256,210
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド(評価額)	8,456,196,121
(B) 負 債	38,170,057
未 払 解 約 金	2,676,283
未 払 信 託 報 酬	34,590,777
未 払 利 息	220
そ の 他 未 払 費 用	902,777
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	8,496,282,274
元 本	3,918,736,623
次 期 繰 越 損 益 金	4,577,545,651
(D) 受 益 権 総 口 数	3,918,736,623口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	21,681円

(注記事項)

期首元本額	1,652,755,705円
期中追加設定元本額	3,854,834,572円
期中一部解約元本額	1,588,853,654円
1口当たり純資産額	2,1681円

* 損益の状況 *

(自2020年6月16日 至2021年6月15日)

(4) 売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	1,366千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2千円
(B) / (A)	0.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうちこのファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当ファンドに係る利害関係人等とはユービーエス・エイ・ジー（銀行）です。

* 組入資産の明細 *

親投資信託残高

(2021年6月15日現在)

項 目	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド	1,577,781	3,699,932	8,456,196	

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 投資信託財産の構成 *

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド	8,456,196	99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	78,256	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	8,534,452	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（79,046,253千円）の投資信託財産総額（79,213,571千円）に対する比率は99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.11円、1カナダ・ドル=90.68円、1ユーロ=133.45円、1イギリス・ポンド=155.39円、1スイス・フラン=122.43円、1スウェーデン・クローネ=13.22円、1デンマーク・クローネ=17.95円、1オーストラリア・ドル=84.91円、1香港ドル=14.19円、100韓国ウォン=9.86円、1南アフリカ・ランド=7.99円です。

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 24,900円
支 払 利 息	△ 24,900
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,368,132,906
売 買 益	1,679,723,873
売 買 損	△ 311,590,967
(C) 信 託 報 酬 等	△ 56,042,161
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,312,065,845
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	105,620,628
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,159,859,178
(配 当 等 相 当 額)	(1,462,516,809)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,697,342,369)
(G) 計 算 (D+E+F)	4,577,545,651
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	4,577,545,651
追 加 信 託 差 損 益 金	3,159,859,178
(配 当 等 相 当 額)	(1,468,668,120)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,691,191,058)
分 配 準 備 積 立 金	1,417,686,473

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（57,877,792円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,254,188,053円）、信託約款に規定する収益調整金（3,159,859,178円）および分配準備積立金（105,620,628円）より分配対象収益は4,577,545,651円（10,000口当たり11,681円）ですが、分配を行っておりません。

UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド

第5期（2021年6月15日決算）

（計算期間：2020年6月16日～2021年6月15日）

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

「UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド」は、〈UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）〉が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ここにマザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

* 当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、主として日本を除くグローバル株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主として日本を除くグローバル株式を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

〈お問い合わせ先〉

投信営業部

03-5293-3700

〈受付時間〉

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

http://www.ubs.com/japanfunds

* 設定以来の運用実績 *

決算期	基準価額	期中騰落率	ベンチマーク	期中騰落率	株式組入率	投資信託証券組入率	純資産総額
(設定日) 2016年9月26日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	百万円 800
1期(2017年6月15日)	12,117	21.2	12,428	24.3	97.7	—	13,959
2期(2018年6月15日)	14,771	21.9	14,278	14.9	99.2	—	64,541
3期(2019年6月17日)	15,558	5.3	14,483	1.4	97.7	1.2	65,211
4期(2020年6月15日)	16,474	5.9	14,846	2.5	97.6	—	66,100
5期(2021年6月15日)	22,855	38.7	21,937	47.8	95.8	—	78,870

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期中の基準価額等の推移 *

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入率	投資信託証券組入率
	円	%	円	%		
(期首) 2020年6月15日	16,474	—	14,846	—	97.6	—
6月末	16,814	2.1	15,048	1.4	98.1	—
7月末	17,617	6.9	15,557	4.8	97.5	—
8月末	19,008	15.4	16,759	12.9	98.0	—
9月末	18,296	11.1	16,107	8.5	98.4	—
10月末	17,821	8.2	15,665	5.5	97.1	—
11月末	18,903	14.7	17,477	17.7	98.1	—
12月末	19,269	17.0	17,986	21.2	98.9	—
2021年1月末	19,765	20.0	18,364	23.7	96.7	—
2月末	20,227	22.8	18,991	27.9	96.1	—
3月末	21,144	28.3	20,267	36.5	97.9	—
4月末	22,414	36.1	21,227	43.0	98.2	—
5月末	22,344	35.6	21,549	45.1	95.8	—
(期末) 2021年6月15日	22,855	38.7	21,937	47.8	95.8	—

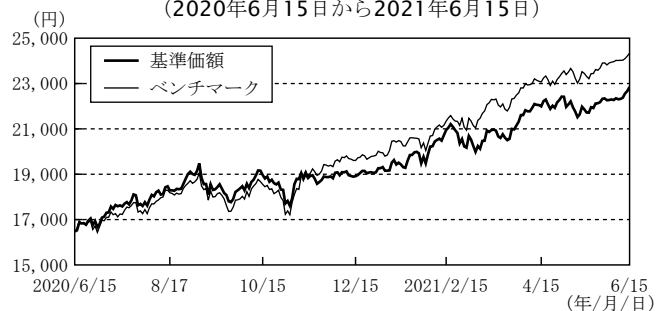
(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期の運用状況 *

〈当期の基準価額等の推移〉
(2020年6月15日から2021年6月15日)



基準価額は期首比で**6,381**円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は**+38.7%**となりました。

投資環境について

当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。コロナ禍での経済活動の停滞に対し、各国政府および中央銀行が景気下支えのため積極的な措置を講じたことから、株式市場は大きく上昇して始まりました。2020年9月以降、高値警戒感の広がりや11月の米大統領選・両院議会選に対する警戒感から、値動きが不安定化する局面はあったものの、米国の選挙後は同国の政治リスク後退、また新型コロナウイルスワクチンの実用化への期待などを背景に反発し、年末にかけて一段高となりました。2021年に入り、1月は米国市場での投機的取引を引き金とした市場の混乱、2月から3月にかけては米国長期金利の急上昇、さらに5月は米インフレ率の大幅な上昇を嫌気して、グロース株中心に売り圧力に押される局面もありましたが、景気敏感銘柄が相場をけん引し、全体としては期末まで概ね上昇基調を維持しました。

運用経過

〈ポートフォリオについて〉

当ファンドは、日本を除く世界の株式を主要対象とし、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいりました。なお、為替ヘッジは行っておりません。

○期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄
情報技術では、クラウド事業の成長余地や株主還元姿勢の強化を評価する米ソフトウェア大手のマイクロソフトを積み増したほか、安定した顧客基盤に対するクロスセルを通じた成長を図る米クラウド関連ソフトウェアのサービスナウ、市場のすそ野の広さがもたらす成長性とサブスクリプション・ビジネスへの注力に伴う収益安定性を評価する米会計ソフトのインチュエットの新規組み入れなどにより、セクターウェイトを大幅に引き上げました。資本財・サービスについては、コロナ禍での在宅需要のみならず、気候変動問題という構造的要因も追い風となる米発電機メーカーのジェネラック、エネルギーの効率利用という社会的要請への対応が収益拡大につながると思われる米重電大手のシュナイダー・エレクトリックへの新規ポジション構築等により、同じくセクターウェイトを引き上げています。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄
ヘルスケアでは、ファンダメンタルズを精査する中で、先行きの売上動向が高い市場予想を下回るリスクを特定したスイス大手医薬のロシュ、市場に追隨して株価は上昇トレンドをたどる一方、コロナ禍での手術先延ばしにより収益回復が遅れるリスクの高まった米医療機器メーカーのメドトロニック、およびエドワード・ライフサイエンスの全売却を通じて、セクターウェイトを大きく引き下げました。生活必需品では、経済正常化が強意識される中、事業のディフェンシブ性と新興国売上比率の高さから、株価が見直されるには時間を要すると判断した米ノンアルコール飲料大手のコカ・コーラについて、また一般消費財・サービスでは、在宅で押し上げられた需要が経済再開で伸び悩む可能性を踏まえてDIY最大手の米ホーム・デポを全売却し、両セクターのウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドの基準価額は、組入株式の株価上昇に加え、為替市場において米ドルやユーロなどが対円で上昇したことが主なプラス要因となり、上昇しました。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2020/6/16~2021/6/15		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	5円 (5)	0.025% (0.025)	売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	11 (11)	0.056 (0.056)	有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (3) (1)	0.022 (0.017) (0.005)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 外国株式の配当金に係る手数料等
合計	20	0.103	

※期中の平均基準価額は19,468円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

* 期中の売買及び取引の状況 * (自 2020年6月16日 至 2021年6月15日)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株		百株	
アメリカ	31,655 (2,902)	千米ドル 390,167 (-)	37,042	千米ドル 472,927
ユーロ	千ユーロ		千ユーロ	
ドイツ	544 (327)	9,656 (-)	647	6,333
フランス	2,457	40,343	4,997	22,026
オランダ	985 (72)	9,068 (102)	4,459	26,012
フィンランド	169	553	2,319	8,766
イギリス	3,103	千イギリス・ポンド 19,893	1,950	千イギリス・ポンド 13,321
スイス	39	千スイス・フラン 1,276	484	千スイス・フラン 14,859
デンマーク	789	千デンマーク・クローネ 34,051	451	千デンマーク・クローネ 19,924
オーストラリア	-	千オーストラリア・ドル -	886	千オーストラリア・ドル 2,609
香港	35,380 (5,800)	千香港ドル 167,991 (118)	25,112	千香港ドル 168,934
韓国	292	千韓国ウォン 4,746,765	1,173	千韓国ウォン 24,997,793
台湾	18,820	千新台湾ドル 153,445	18,820	千新台湾ドル 199,688
南アフリカ	-	千南アフリカ・ランド -	267	千南アフリカ・ランド 85,996

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分、上段の数字には含まれておりません。

<ベンチマークとの差異について>

当期中の騰落率は、基準価額の+38.7%に対してベンチマークが+47.8%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を9.1%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、一般消費財・サービス、金融、コミュニケーション・サービスにおける銘柄選択がマイナスに寄与したことです。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

米国株式は高値圏でもみ合う展開を予想します。米国では経済再開への期待が強く、依然として低い債券利回りと比較したバリュエーションの観点から、決算前に強い業績に対する期待を織り込む形で、株価は更なる高値を試す展開が想定されます。一方で、労働市場の予想以上の改善を受けた、金融緩和の早期縮小に対する警戒感、また政治面では、米中摩擦の再燃や債務上限をめぐる与野党の議論紛糾などが、市場を動揺させる可能性に注意が必要と考えます。

欧州株式はもみ合う展開を予想します。新型コロナウイルスワクチンの接種加速に伴う世界経済の回復期待や、欧州連合（EU）復興基金等の財政支援期待、緩和的な金融環境の長期化等が、引き続き欧州株式市場の追い風になると見えています。一方、中国景気の鈍化や商品価格の上昇、半導体不足などが欧州企業の収益改善を阻害する要因になる可能性があります。また、英国ではデルタ株の影響により新型コロナウイルスの感染状況が再び悪化しており、欧州大陸への影響も危惧されます。

<今後の運用方針>

引き続き世界の株式に投資を行い、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指してまいります。

* 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 *

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	124,487,907千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	74,894,599千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.66

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

* 主要な売買銘柄 * (自 2020年6月16日 至 2021年6月15日)

株 式

銘 柄	買 付			売 付			
	株数	金額	平均単価	銘 柄	株数	金額	
MICROSOFT CORP(アメリカ)	131	千円 3,109,997	円 23,680	MICROSOFT CORP(アメリカ)	98	千円 2,387,814	円 24,285
FACEBOOK INC-CLASS A(アメリカ)	97	2,763,567	28,355	MASTERCARD INC - A(アメリカ)	58	2,116,803	36,013
SERVICENOW INC(アメリカ)	31	1,618,267	52,032	ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	10	1,872,639	177,014
GENERAC HOLDINGS INC(アメリカ)	65	1,613,875	24,582	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN(スイス)	48	1,732,870	35,776
JPMORGAN CHASE & CO(アメリカ)	108	1,379,076	12,702	COCA-COLA CO/THE(アメリカ)	322	1,688,698	5,239
L'OREAL(ユーロ・フランス)	35	1,366,867	38,906	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A(アメリカ)	26	1,666,645	63,746
CITIGROUP INC(アメリカ)	212	1,317,088	6,207	FACEBOOK INC-CLASS A(アメリカ)	60	1,645,995	27,079
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A(アメリカ)	36	1,241,870	34,324	HOME DEPOT INC(アメリカ)	49	1,645,351	33,049
APPLIED MATERIALS INC(アメリカ)	114	1,228,178	10,687	CITIGROUP INC(アメリカ)	212	1,612,219	7,598
KEYSIGHT TECHNOLOGIES IN(アメリカ)	78	1,225,822	15,640	ACCENTURE PLC-CL A(アメリカ)	63	1,501,140	23,459

(注) 金額は受け渡し代金。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）/Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 利害関係人等との取引状況等 *（自 2020年6月16日 至 2021年6月15日）

(1) 期中の利害関係人等との取引状況

区分	買付額等		B/A	売付額等		D/C
	A	うち利害関係人等との取引状況B		C	うち利害関係人等との取引状況D	
株 式	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
	55,717	208	0.4	68,770	157	0.2

(2) 利害関係人等である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株 式	百万円 23

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額(A)	19,258千円
うち利害関係人への支払額(B)	58千円
(B)/(A)	0.3%

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当期における当ファンドに係る利害関係人等とはユービーエス・エイ・ジー（銀行）です。

* 組入資産明細表 *（2021年6月15日現在）

外国株式

銘柄	期首		当 期 末		業種等
	株数	株数	評 価 額	外貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	563	480	26,778	2,948,604	ソフトウェア・サービス
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	335	—	—	—	素材
ABBOTT LABORATORIES	—	316	3,495	384,862	ヘルスケア機器・サービス
ALLSTATE CORP	—	903	11,833	1,302,988	保険
APPLIED MATERIALS INC	—	635	8,834	972,753	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	110	101	34,237	3,769,945	小売
COCA-COLA CO/THE	3,085	—	—	—	食品・飲料・タバコ
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	1,149	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
HOME DEPOT INC	471	—	—	—	小売
INTUIT INC	—	259	12,370	1,362,084	ソフトウェア・サービス
JPMORGAN CHASE & CO	592	1,111	17,521	1,929,271	銀行
KLA CORP	—	309	10,075	1,109,430	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	2,406	2,736	71,111	7,830,072	ソフトウェア・サービス
MARSH & MCLENNAN COS	712	872	12,186	1,341,869	保険
PROCTER & GAMBLE CO/THE	470	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
UNITEDHEALTH GROUP INC	300	214	8,555	942,056	ヘルスケア機器・サービス
AMERICAN EXPRESS CO	677	—	—	—	各種金融
AMPHENOL CORP-CL A	—	1,208	8,254	908,866	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	—	775	12,303	1,354,792	各種金融
NEXTERA ENERGY INC	548	1,827	13,396	1,475,099	公益事業
DANAHER CORP	456	447	11,077	1,219,720	ヘルスケア機器・サービス
DOLLAR TREE INC	590	—	—	—	小売
NETEASE INC-ADR	92	—	—	—	メディア・娯楽
GLOBAL PAYMENTS INC	517	—	—	—	ソフトウェア・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	401	—	—	—	各種金融
HESS CORP	1,726	722	6,410	705,848	エネルギー
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	—	361	10,970	1,207,961	家庭用品・パーソナル用品
MASTERCARD INC - A	1,001	466	17,085	1,881,306	ソフトウェア・サービス
MOODY'S CORP	372	304	10,605	1,167,824	各種金融
PROGRESSIVE CORP	783	—	—	—	保険
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	448	391	18,413	2,027,467	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VISA INC-CLASS A SHARES	607	520	12,184	1,341,668	ソフトウェア・サービス
VIAVARE INC-CLASS A	355	—	—	—	ソフトウェア・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	566	—	—	—	メディア・娯楽
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	230	—	—	—	消費者サービス
EPAM SYSTEMS INC	58	245	12,466	1,372,730	ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A	611	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TAL EDUCATION GROUP- ADR	780	681	2,030	223,605	消費者サービス
GENERAC HOLDINGS INC	—	374	13,301	1,464,647	資本財
FACEBOOK INC-CLASS A	—	366	12,352	1,360,121	メディア・娯楽
SERVICENOW INC	—	273	13,925	1,533,376	ソフトウェア・サービス
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	1,147	—	—	—	食品・飲料・タバコ
T-MOBILE US INC	—	597	8,676	955,420	電気通信サービス
ZOETIS INC	742	702	12,959	1,426,995	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CDW CORP/DE	—	350	5,927	652,680	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WILLIS TOWERS WATSON PLC	334	—	—	—	保険
ALTICE USA INC - A	—	1,959	6,827	751,725	メディア・娯楽
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	324	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
FRONTIER GROUP HOLDINGS INC	—	1,374	2,604	286,751	運輸
CHEGG INC	—	486	3,791	417,440	消費者サービス
VOYA FINANCIAL INC	1,346	—	—	—	各種金融
INGERSOLL-RAND INC	—	1,422	6,761	744,532	資本財
PPD INC	85	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	697	851	18,226	2,006,956	小売
KEYSIGHT TECHNOLOGIES IN	—	689	10,239	1,127,508	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

銘柄	期首		当 期 末		業種等
	株数	株数	評 価 額	外貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
MEDTRONIC PLC	1,137	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
EVERSOURCE ENERGY	1,122	563	4,653	512,425	公益事業
ALPHABET INC-CL A	174	108	26,568	2,925,427	メディア・娯楽
PAYPAL HOLDINGS INC	789	678	18,657	2,054,324	ソフトウェア・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	249	—	—	—	メディア・娯楽
小計	株数・金額	29,179	26,694	517,674	57,001,165
	銘柄数<比率>	42	38	—	<72.3%>
(ユーロ圏・ドイツ)	—	—	千ユーロ	—	
MUECHENER RUECKVER AG-REG	—	224	5,242	699,629	保険
SIEMENS AG-REG	654	654	8,882	1,185,376	資本財
小計	株数・金額	654	878	14,125	1,885,006
	銘柄数<比率>	1	2	—	<2.4%>
(ユーロ圏・フランス)	—	—	—	—	
AXA SA	3,348	—	—	—	保険
AIR LIQUIDE SA	465	500	7,053	941,316	素材
SCHNEIDER ELECTRIC SE	—	508	6,609	882,085	資本財
L'OREAL	—	313	12,036	1,606,310	家庭用品・パーソナル用品
LVNH MOET HENNESSY LOUIS VUI	114	182	12,271	1,637,643	耐久消費財・アパレル
PERNOD RICARD SA	194	—	—	—	食品・飲料・タバコ
KERING	—	78	5,872	783,670	耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額	4,122	1,583	43,844	5,851,027
	銘柄数<比率>	4	5	—	<7.4%>
(ユーロ圏・オランダ)	—	—	—	—	
KONINKLIJKE PHILIPS NV	2,227	1,335	5,937	792,376	ヘルスケア機器・サービス
UNILEVER NV	2,254	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ASML HOLDING NV	160	191	11,044	1,473,884	半導体・半導体製造装置
PROSUS NV	668	381	3,256	434,642	小売
小計	株数・金額	5,310	1,908	20,239	2,700,903
	銘柄数<比率>	4	3	—	<3.4%>
(ユーロ圏・フィンランド)	—	—	—	—	
SAMPO OYJ-A SHS	4,422	2,273	8,833	1,178,768	保険
小計	株数・金額	4,422	2,273	8,833	1,178,768
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.5%>
ユーロ計	株数・金額	14,510	6,643	87,041	11,615,706
	銘柄数<比率>	10	11	—	<14.7%>
(イギリス)	—	—	千イギリス・ポンド	—	
ASTRAZENECA PLC	961	996	8,314	1,292,019	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RIO TINTO PLC	—	557	3,393	527,342	素材
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	—	560	4,357	677,086	各種金融
小計	株数・金額	961	2,113	16,065	2,496,449
	銘柄数<比率>	1	3	—	<3.2%>
(スイス)	—	—	千スイス・フラン	—	
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	444	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	444	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(デンマーク)	—	—	千デンマーク・クローネ	—	
NOVO NORDISK A/S-B	973	1,311	67,687	1,214,989	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	973	1,311	67,687	1,214,989
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.5%>
(オーストラリア)	—	—	千オーストラリア・ドル	—	
NEWCREST MINING LTD	886	—	—	—	素材
小計	株数・金額	886	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(香港)	—	—	千香港ドル	—	
ZHONGSHENG GROUP HOLDINGS	5,855	—	—	—	小売
YIHA INTERNATIONAL HOLDING	—	3,900	21,177	300,501	食品・飲料・タバコ
WUXI BIOTECHNOLOGIES INC	—	1,725	21,528	305,482	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NETEASE INC	1,489	—	—	—	メディア・娯楽
HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-H	—	1,541	25,056	355,554	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JOHN LABORATORIES CHINA C-H	—	996	15,936	226,131	ヘルスケア機器・サービス
ALIBABA HEALTH INFORMATION T	—	18,400	32,936	467,361	ヘルスケア機器・サービス
WUXI BIOTECHNOLOGIES INC	3,150	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	10,494	26,562	116,633	1,655,031
	銘柄数<比率>	3	5	—	<2.1%>
(韓国)	—	—	千韓国ウォン	—	
NCSOFT CORP	72	—	—	—	メディア・娯楽
SAMSUNG SDI CO LTD	249	90	5,793,174	571,206	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	1,914	1,264	10,180,835	1,003,830	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	2,236	1,355	15,974,009	1,575,037
	銘柄数<比率>	3	2	—	<2.0%>
(南アフリカ)	—	—	千南アフリカ・ランド	—	
NASPERS LTD-N SHS	267	—	—	—	小売
小計	株数・金額	267	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
合計	株数・金額	59,952	64,680	—	75,558,379
	銘柄数<比率>	63	60	—	<95.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 投資信託財産の構成 *

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 75,558,379	% 95.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,655,192	4.6
投 資 信 託 財 産 総 額	79,213,571	100.0

- (注1) 金額の単位未満は切り捨て。
 (注2) 当期末における外貨建純資産 (79,046,253千円) の投資信託財産総額 (79,213,571千円) に対する比率は99.8%です。
 (注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.11円、1カナダ・ドル=90.68円、1ユーロ=133.45円、1イギリス・ポンド=155.39円、1スイス・フラン=122.43円、1スウェーデン・クローネ=13.22円、1デンマーク・クローネ=17.95円、1オーストラリア・ドル=84.91円、1香港ドル=14.19円、100韓国ウォン=9.86円、1南アフリカ・ランド=7.99円です。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	79,623,575,795円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,069,427,989
株 式 (評価額)	75,558,379,333
未 収 入 金	970,968,427
未 収 配 当 金	24,800,046
(B) 負 債	752,815,185
未 払 金	566,815,154
未 払 解 約 金	186,000,000
未 払 利 息	31
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	78,870,760,610
元 本	34,509,801,362
次 期 繰 越 損 益 金	44,360,959,248
(D) 受 益 権 総 口 数	34,509,801,362口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	22,855円

- (注記事項)
 期首元本額 40,123,827,751円
 期中追加設定元本額 9,805,725,515円
 期中一部解約元本額 15,419,751,904円
 1口当たり純資産額 2,285円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

- UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用） 14,002,840,680円
 UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式ファンド2018（適格機関投資家向け） 12,685,756,138円
 UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用） 4,121,271,872円
 UBSグローバル株式厳選投資ファンドBコース（ダイワ投資一任専用） 3,699,932,672円

* 損益の状況 *

(自2020年6月16日 至2021年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	796,090,767円
受 取 配 当 金	796,519,028
受 取 利 息	△ 390,096
支 払 利 息	△ 38,165
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	24,214,131,615
売 買 益	26,558,378,210
売 買 損	△ 2,344,246,595
(C) 信 託 報 酬 等	△ 17,406,771
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	24,992,815,611
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	25,977,117,248
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,393,274,485
(G) 解 約 差 損 益 金	△16,002,248,096
(H) 計 (D+E+F+G)	44,360,959,248
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	44,360,959,248

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。